

平成29年度 公立学校教職員定期人事異動の概況

学校人事課

1 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ア 全県的視野に立った広域交流に努める。
- イ 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ウ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- エ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- オ ヘき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

(校種別内訳)

(単位：人、%)

校種	職員数	異動者数	異動率	前年度異動率
小学校	5,201	1,359	26.1	28.3
中学校	2,998	791	26.4	29.2
高等学校	3,664	777	21.2	21.5
特別支援学校	1,407	363	25.8	24.1
合計	13,270	3,290	24.8	26.2

ア 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数13,270人中、3,290人が異動し、異動率は24.8%（前年度は26.2%）となっている。

イ 退職者数は、小学校が160人、中学校が84人、高等学校が66人、特別支援学校が24人で合計334人である。（前年度は370人）

ウ 管理職への昇任は、校長57人（女性12人）、教頭47人（女性15人）、合計104人（女性27人）である。

(参考) 管理職選考試験の受験者等（校長及び教頭）

	受験者	合格者	合格率
H29	563人（女性96人）	202人（女性43人）	35.9%（女性44.8%）
H28	606人（女性94人）	193人（女性44人）	31.8%（女性46.8%）

エ 事務長への昇任は、課長相当職3人（女性0人）、班長相当職4人（女性2人）である。

オ 新規採用者数は、教諭420人、養護教諭16人、事務職員26人、学校栄養職員5人、その他職員17人の合計484人（前年度は487人）である。

2 その他（少人数学級の拡大）

小学校1年生から小学校5年生及び中学校1年生については、少人数学級（標準学級編制に比べ355学級増）の編成により、引き続き、きめ細かな指導の充実を図る。